



平成30年度会務・会計報告



日本弁理士クラブ 幹事長報告

平成30年度日本弁理士クラブ幹事長
真田 有

1. はじめに

平成30年度は、日本弁理士会会長選挙があり、日本弁理士クラブ（以下「日弁」）から推薦した清水善廣会長候補者が無事当選を果たすことができました。これも日弁の会員の皆様や西日本弁理士クラブの会員の皆様及び弁理士連合クラブの会員の皆様のご支援の賜物であり、改めて、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

〈基本方針〉

- (1) 日本弁理士会(弁理士会)の会務運営を支える。
- (2) 日弁が一体となって弁理士会役員選挙に臨む。
- (3) 知財制度、弁理士制度及び弁理士の環境改善について積極的に提言する。
- (4) 5つの日弁構成会派の連携強化を図る。
- (5) 魅力ある日弁をめざして活動する。

2. 日本弁理士会の会務運営サポート

平成30年度は、平成29年に引き続き、日弁推薦の渡邊敬介会長が日本弁理士会のかじ取りを行いましたので、まずは、日本弁理士会の運営を人材及び政策の面から支える活動を行いました。

人事面では、平成30年1月から立ち上がりました次年度人事検討委員会において、日弁所属の各会派から種々の有能な人材を各委員会に推薦し、弁理士会の各委員会活動を担っていただきました。

また、弁理士会の関東支部の人事についても有能な人材を推薦いたしました。特に、渡邊敬介会長の推し進める「知財広め隊事業」の締め年度に当たり、多くの人材を日弁選出の委員が担ってまいりま

した。

政策面からは、弁理士会の正副会長と密に連絡を取り意見交換を行って、渡邊敬介会長の進めようとしている政策に対し、日弁各会派からの意見を収集し、福田政策委員長の元でまとめて報告する等の作業を行ってまいりました。

3. 日本弁理士会役員選挙

平成30年度は協議委員会の立ち上がりと同時に春秋会と稲門弁理士クラブからそれぞれ次期弁理士会会長候補者の推薦があり、その後、協議委員会で作成した次期弁理士会会長候補者推薦スキームに従って協議を行い、日弁から統一候補者として春秋会の清水善廣会員を推薦いたしました。

その後は、西日本弁理士クラブ様及び弁理士連合クラブ様より共同推薦をいただきました。

また、副会長、常議員、監事については、最終的には無投票で日弁から推薦した全会員が当選いたしました。

詳細は、後述する選挙対策委員会からの報告をご参照ください。

新役員の方々の今後の活躍を期待申し上げます。

4. 日弁の運営

日弁内の委員会では以下の内容で一年間の活動を行いました。

(1) 政策委員会

- ①日弁としての中長期ビジョン等の検討
- ②弁理士会及び幹事会からの検討依頼事項への対応
- ③平成31年度弁理士会役員選挙に際し、政策面での支援（会費値下げの可能性の検討を含む）
- ④知財制度、弁理士制度及び弁理士の環境改善についての弁理士会に対する意見、要望のとりまとめ

(2) 協議委員会

- ①平成31年度弁理士会役員選挙についての対応

- (3) 規約委員会
- ①日弁規約の見直し検討と、改正が必要な場合における改正案の作成
- (4) 研修委員会
- ①研修の企画・立案・実行（旅行会も含めて検討）
- ②特定侵害訴訟代理業務試験対策研修会実施の可否の検討
- ③無会派層も含めた新規研修の企画・立案・実行
- ④弁理士会の認定外部機関承認へ向けた活動
- (5) 会報委員会
- ①会報の発行
- ②広報委員会との連携（情報提供）
- (6) 広報委員会
- ①日弁ホームページの管理・更新
- ②会報委員会との連携（HP掲載是非の検討）
- ③日弁活動の広報（メルマガの発行）

5. 行事

平成30年度の日弁行事は以下のとおり実施されました。

- (1) 旅行会 平成30年6月16, 17日 箱根湯本温泉
- (2) ゴルフ大会 平成30年6月17日 小田原ゴルフ倶楽部松田コース
- (3) 正副会長候補予定者との意見交換会 平成30年8月31日
- (4) リレーマラソン大会 平成30年10月14日
- (5) 役員選挙当選祝賀会 平成30年11月28日
- (6) ボウリング大会 平成30年12月4日
- (7) テニス大会 平成31年2月2日
- (8) 各種研修会（研修委員会報告参照）

6. 最後に

今年度の日弁の活動を実際に担っていただきました、平成30年度の幹事会メンバー及び政策委員長を以下に紹介いたします。ほか、お名前は掲載いたしません。前記の日弁各委員会で活動していただきました日弁会員の皆様、おかげさまで何とか平成30年度の1年間、与えられた役割を果たすことができました。本当にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げますとともに皆様方のこれ

からのご活躍をお祈り申し上げて、活動報告を締めくくりたいと思います。

政策委員長

(PA) 福田 伸一先生

副幹事長

(南甲) 服部 秀一先生〔庶務・総会・相談役会・協議（前期）〕

(PA) 帯包 浩司先生〔政策・研修〕

(春秋) 須藤 晃伸先生〔規約・慶弔・旅行・ボウリング・協議（後期）〕

(無名) 竹山 尚治先生〔広報・会報・ゴルフ・マラソン〕

(稲門) 大西 達夫先生〔会計・テニス〕

幹事

(PA) 浜井 英礼先生 下田 俊明先生

(春秋) 中村 祥二先生 工藤 嘉晃先生

(南甲) 藤沢 昭太郎先生 林 剛史先生

(無名) 鶴目 朋之先生 篠原 淳司先生

(稲門) 綾木 健一郎先生 菅原 峻一先生

会計監事

(PA) 中尾 直樹先生

(無名) 石原 進介先生



平成30年度 日本弁理士クラブ 政策委員会活動報告

政策委員長 福田 伸一

委員会の構成

担当副幹事長	帯包浩二（P A）
副委員長	大澤 豊（春秋） 金本哲男（南甲） 中 大介（無名） 市川ルミ（稲門） 林 篤史（P A）
委員	三上敬史（春秋） 栗原 弘（春秋） 石橋良規（南甲） 津田 理（南甲） 内田雅一（無名） 前田健一（無名） 吉田正義（稲門） 植田晋一（稲門） 上山 浩（P A） 渡邊伸一（P A）

諮問事項

- (1) 日弁としての中長期ビジョン等の検討
- (2) 弁理士会及び幹事会からの検討依頼事項への対応
- (3) 平成30年度弁理士会役員選挙に際し、政策面での支援（会費値下げの可能性の検討を含む）
- (4) 知財制度、弁理士制度及び弁理士の環境改善についての弁理士会に対する意見

活動報告

(1) 委員会開催

①第1回政策委員会（4月12日）

真田幹事長より諮問事項、私より検討事項の説明があった後、委員間で意見交換を行った。

②第2回政策委員会（5月10日）

日本弁理士会坂本副会長による平成30年度日本弁

理士会第1回定期総会の上程議案についての説明の後、主に事業計画・予算についての意見交換を行った。

③第3回政策委員会（7月12日）

平成31年度日本弁理士会会長候補予定者として日本弁理士クラブが推薦を決定した清水善廣会員（及び春秋会政策関係者）によるプレゼン『夢と希望のある弁理士業界の実現』の後、質疑応答、意見交換を行った。

⑤第4回政策委員会（10月11日）

報酬分配制限規定、日弁の存在意義について検討すると共に、独立社外取締役制度について加藤孝雄会員、谷義一常任相談役より説明があり、弁理士との関係について意見交換を行った。

⑥第5回政策委員会（11月8日）

日本弁理士会内隣接士業等検討WGの報告書等により坂本副会長が報酬分配禁止規定について説明した後、質疑応答、意見交換を行った。

(2) 日本弁理士会からの検討要請

①次期弁理士法改正項目に関する検討

各会派において一人法人制度の導入、法人名称、弁理士の業務範囲、弁理士報酬要件（第75条）等、広範な項目について検討を行い、平成30年7月9日付で報告書を提出した。

②会則第41条の3の改正（報酬分配制限規定の新設）に関する検討

各会派において検討を行い、平成30年8月28日付で報告書を提出した。なお、検討結果は、本規定の導入自体は賛成であるが、弁理士会規定にあるような「紹介料授受禁止」に関する規定も新設しなければ実効が期待できないのではないか、というものであった。



平成30年度 日弁協議委員会（後期） 報告

委員長 佐藤辰彦

平成30年4月に平成30年度日弁協議委員会委員長に就任した後の活動の概要を報告します。

（経緯）

平成31年度日本弁理士会役員選挙にあたり、日弁からの候補者選定が各会派からの推薦を受けて進められた。会長候補としては春秋会から推薦された清水善廣会員がそれまでの当委員会及び幹事会での審議により決定された。その経緯は、春秋会からの推薦者と稲門クラブからの推薦者が出され、両推薦者に政策提言を行ってもらい、これを受けて各会派で検討した結果を踏まえて当委員会及び幹事会の決定により清水会員を会長候補とすることとなった。副会長候補については春秋会2名、PA会1名、南甲弁理士クラブ1名、無名会1名の5名が推薦され、常議員および監事について各会派の推薦に従って当委員会、幹事会で承認された。

選挙にあたっては、各会派の意見を聴取して次のような方針で臨むこととなった。

（1）会長については、候補取下げは考えず選挙すべき。

（2）副会長についても選挙を行なうべきである。1つの会派が副会長候補を2人擁立した場合でも、定員オーバーになったからといって機械的に一人の副会長に候補を取り下げるべきでない。

（3）常議員選挙についても、副会長選挙と同様に考えるが、副会長選挙に比し地域が限られ数も多いことからより柔軟な対応は必要。

（4）副会長、常議員候補を取下げの場合の判断に際しては、日弁の会派間での選挙協力がどの程度できるのか等を議論し、常任相談役会のアドバイスを受けた上で、最終的に幹事会で決定すべき。

その後、清水会員について弁理士連合クラブ、西日本弁理士クラブからの共同推薦が得られた。

選挙では、会長候補は1名のみで無投票当選した。副会長選挙については定員より1名のオーバーの届け出がなされたが、その後1名の届け出の撤回があり無投票で全員当選した。常議員についても定員より1名オーバーしたが春秋会からの候補の撤回があり、その余の日弁推薦者の候補は無投票当選した。監事については定員のと通りの立候補でこれも無投票当選した。

（所感）

平成31年度の役員選挙は無事無投票で所期の目標を達成できたことは当委員会の委員、各会派の関係者並びに真田日弁幹事長はじめ日弁幹事会のご努力によるものであり改めて委員長としてお礼を申し上げます。特に、この選挙では、会長候補を推薦する過程で十分に政策について議論されて会長候補が決まったことは、今後の日本弁理士会のリーダーを推挙するプロセスとして大変によかったと思います。



平成30年度 日本弁理士クラブ 研修委員会報告

研修委員長 亀山 育也

平成30年度研修委員会につきまして、以下のとおりご報告いたします。

1. 開催回数

研修委員会 1回
研修会 2回

2. 委員会の構成

委員長	亀山 育也
委員	田中 秀幸 (P A)
	金森 靖宏 (春秋)
	山川 啓 (春秋)
	赤堀 孝 (南甲)
	源田 正宏 (南甲)
	林 司 (無名)
	三井 直人 (無名)
	福森 智哉 (稲門)
	中村 聡 (稲門)
担当副幹事長	帯包 浩司 (P A)

3. 委員会の運営

第1回委員会を、平成30年2月8日(木)午後6時30分から、商工会館7階7D会議室で開催しました。当日は規約委員会と合同の立ち上げ会を開催の後、以下のとおり、研修委員会の置かれている状況について意見交換し、今年度の活動方針について検討しました。

従来、日本弁理士クラブ(「日弁」)の研修とえば、特定侵害訴訟代理業務試験対策(「付記試験対策」)の研修が伝統的に有名でした。しかし、受験者数は平成16年度の985名をピークに、平成29年度は193名と減少の一途をたどっており、日弁の付記試験対策研修についても受講者の減少による困難な運営が続いていました。

一方、平成30年度中に業務研修の外部研修機関としての認定を受けることがほぼ確実に、日常業務に有益な一般向け研修の提供が期待されてきました。しかし、昨今の企業内弁理士数の増加や、通常業務の時間を犠牲にすることなく研修を受講したいという若手弁理士のニーズに応えるため、弁理士会本会、地域支部(当時)などが夜の時間に研修を開催するようになってきたことから、「日弁」ならではの研修を開催することの重要性が求められると考えました。

そこで、①会場を必要とする委員会の開催は避け、電子メールをベースとした委員会内の情報共有・意思決定を行う、②付記試験対策のうち、「過去問解析講座」のみを開催する、③昨年度に付記試験対策の「模擬試験」をお願いした柳下彰彦先生(弁護士・弁理士)には、知財に関する契約についての演習形式の講義を実施していただく、の3点を基本計画とすることとしました。

4. 研修内容

(1) 特定侵害訴訟代理業務試験対策研修

〈過去問解析講座〉

日程：2018年8月1日(水)

会場：弁理士会館

講師：弁護士・弁理士 石神恒太郎先生(青和特許法律事務所)

内容：①特定侵害訴訟代理業務試験のポイント(知財侵害訴訟の要件事実について)

②平成29年度第一問・第二問解説

受講者数：集合研修8名、通信1名(重複あり)

(2) 一般向け研修

〈秘密保持契約書作成演習講座〉

日程：2018年8月27日(月)

会場：弁理士会館

講師：弁護士・弁理士 柳下彰彦先生(弁護士法人内田・鮫島法律事務所)

内容：①秘密保持契約書作成の基本事項とポイントの解説

②秘密保持契約書のサンプルを用いた実践演習

受講者数：18名

会報委員会報告

委員長 亀山 夏樹

1. 委員の構成

委員長 亀山 夏樹（無名）
委員 関 誠之（無名）
松宮 尋統（P A）
山崎 晃弘（P A）
藺田新太郎（春秋）
齋藤 学（春秋）
松田 次郎（南甲）
丸山 陽（南甲）
松田 真（稲門）
徳田 雄飛（稲門）

2. 活動内容

会報「日弁」第42号の発行

発行部数：全2,905部

内訳 PA会：985部

稲門弁理士クラブ：220部

春秋会：860部

南甲弁理士クラブ：440部

無名会：400部

発送 平成30年11月27日に印刷手配を依頼し、順次各会派に発送

3. 会合

平成30年 6月20日に開催し、編集工程の説明、執筆依頼の分担の割り振りを行った。

以上

広報委員会報告

委員長 山田 勉

平成30年の広報委員会の構成及び活動内容等について、次の通りご報告いたします。

1. 委員の構成

委員長 山田 勉（無名）
委員 鈴木 大介（P A）
山崎 貴明（春秋）
楠 和也（南甲）
榮野 隼一（稲門）

2. 会合及び審議内容

開催日時：平成30年4月25日

場所：弁理士会館地下1階C会議室

議事：

- (1) 委員紹介
- (2) 日弁広報委員会の業務の確認
- (3) ホームページの更新・維持・管理の方針

3. 広報委員会の活動報告

- (1) ホームページの更新・維持・管理

ホームページの更新の内容は主に以下の通り。

- ・ 幹事長就任挨拶のホームページへの掲載
- ・ 日本弁理士クラブで主催の研修会の案内

以上

平成30年度会合行事記録

平成30年度副幹事長 服 部 秀 一

月	総会・相談役会・行事	幹事会	委員会	その他
1月		1/15 第1回（拡大）	1/29 委員会合同立上げ （政策・協議・広 報・会報） 1/29 第1回政策 1/29 第1回協議	
2月	2/ 2 テニス大会	2/19 第2回	2/ 8 委員会合同立上げ （研修・規約） 2/ 8 第1回研修 2/ 8 第1回規約 2/ 8 第2回協議 2/16 第3回協議	
3月	3/ 6 第1回相談役会 3/16 第1回定時総会	3/ 1 第3回 3/16 第4回	3/ 5 第4回協議 3/ 7 第2回規約 3/19 第5回協議（拡大）	3/ 9 東海協議会 役員慰労激励会 3/ 9 西日本弁理士ク ラブ 役員慰労激励会
4月	4/23第1回常任相談役会	4/ 9 第5回	4/ 4 第3回規約 4/10 第6回協議 4/12 第2回政策 4/25 第1回広報	
5月		5/14 第6回（拡大）	5/10 第3回政策	
6月	6/14 第2回相談役会 6/16-17 旅行会 6/17 ゴルフ大会	6/11 第7回	6/ 4 第7回協議（拡大） 6/19 第8回協議 6/20 第1回会報	
7月		7/ 9 第8回	7/10 第9回協議 7/27 第4回政策 7/27 第10回協議	7/ 7-8 西日本弁理士 クラブ旅行会
8月	8/ 1 特定侵害訴訟代理業務 試験過去問講座 8/27 第1回研修（秘密保持 契約書作成演習） 8/31 意見交換会	8/ 6 第9回	8/29第11回協議	
9月	9/13 第2回常任相談役会	9/13 第10回	9/ 7 第12回協議（拡大） 9/12 第1回選対	9/ 8-9 弁理士連合ク ラブ旅行会
10月	10/21 リレーマラソン大会	10/15 第11回	10/11 第5回政策	
11月	11/21 第3回常任相談役会 11/28 第2回定時総会 11/28 役員選挙当選祝賀会	11/12 第12回	11/ 8 第6回政策	
12月	12/ 3 第3回相談役会 12/ 4 ポーリング大会	12/10 第13回 12/21 幹事会引継ぎ		

平成30年度総会承認事項

平成30年度副幹事長 服 部 秀 一

第1回定時総会

日時：平成30年3月16日（月）19時00分～20時00分

会場：商工会館 6階 6G会議室

- (1) 平成29年度日弁事業報告の承認を求める件
竹山尚治副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認。
- (2) 平成29年度日弁決算報告の承認を求める件
大西達夫副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認。
- (3) 平成30年度日弁事業計画の承認を求める件
真田有幹事長による説明の後、賛成多数により承認。
- (4) 平成30年度日弁予算の承認を求める件
真田有幹事長による説明の後、賛成多数により承認。
- (5) 平成30年度日弁予算予備費の取り崩しの承認を求める件
大西達夫副幹事長より、幹事会への一任を求める旨が説明され、賛成多数により承認。
- (6) 平成31年度日本弁理士会（関東支部を含む）役員推薦に係る承認を求める件
真田有幹事長より、幹事会への一任を求める旨が説明され、賛成多数により承認。

第2回定時総会

日時：平成30年11月28日（水）17時40分～18時10分

会場：東海大学校友会館 霞の間

- (1) 平成31年度日本弁理士クラブ幹事長選任の件
福田伸一会員を選任することについて、賛成多数により承認。
- (2) 平成31年度日本弁理士クラブ政策委員長選任の件
羽鳥亘会員を選任することについて、賛成多数により承認。
- (3) 平成31年度日本弁理士クラブ副幹事長、幹事及び会計監事選任の件
平成31年度幹事長に一任することについて、賛成多数により承認。
- (4) 日本弁理士クラブ規約改定の件
須藤晃伸副幹事長による説明の後、賛成多数により承認。

平成30年度最終会計報告

平成30年度会計担当副幹事長 大西 達夫

2019年度第1回日弁総会において平成30年度会計報告が承認されましたので、以下に御報告申し上げます。

下記表のとおり、次年度（2019年度）への繰越金となる予備費（3,766,469）は、前年度からの繰越金（4,931,487）に比べ、1,165,018円の減少となりました。平成30年度は、会長選挙の実施に伴う協議・選対委員会その他の諸活動が積極的に展開されており、これらの支出増加要因をあらかじめ見越して編成した予算の範囲内には収まったとはいえ、会計収支上は厳しい結果となっております。前年度からの繰越金の減少はここ数年来の傾向であり、会派運営上必要やむを得ない支出項目の円滑な予算執行に留意しつつ、引き続き活動資金の確保と有効活用に努めていくことが重要と考えます。関係各位の御理解に深謝するとともに、今後とも御協力を心よりお願い申し上げます。

(単位：円)

収入の部	実績額	予算額
前年度会計からの繰越金	4,931,487	(4,931,487)
各クラブ分担金	2,500,000	(2,500,000)
利息	44	0
協議・選対委員会より入金	1,103,623	0
次年度活動準備費（前年度より）	100,000	(100,000)
その他	0	0
合計	8,635,154	(7,531,487)

支出の部	実績額	予算額
例会・総会	30,888	(50,000)
幹事会	202,802	(250,000)
会報委員会	1,050,796	(1,000,000)
協議・選対委員会	1,933,944	(3,000,000)
政策委員会	61,128	(200,000)
広報委員会	76,490	(100,000)
研修委員会	114,311	(200,000)
日弁五派交流事業費	0	0
相談役会	29,994	(30,000)
旅行会	669,352	(850,000)
旅行会ゴルフ大会補助	43,300	(50,000)
ボウリング大会補助	0	(50,000)
テニス大会補助	50,000	(50,000)
リレーマラソン補助	50,000	(50,000)
庶務	29,384	(30,000)
慶弔費	74,885	(150,000)
渉外・交通	283,324	(500,000)
幹事長渉外費	150,591	(200,000)
P G/W G活動費	0	0
規約委員会	17,496	(50,000)
70周年準備委員会	0	0
次年度活動準備費	0	(100,000)
予備費	3,766,469	(621,487)
合計	8,635,154	(7,531,487)

平成30年度リレーマラソン大会報告

リレーマラソン大会担当副幹事長 竹 山 尚 治

平成30年10月14日（日）に、松戸にある南部市場で行われた第4回松戸南部市場ハーフリレーマラソン大会に参加する形で、日弁リレーマラソン大会を開催しました。

日弁リレーマラソン大会も本年度で3年目となりますが、毎回違う大会に参加しているため、若干の形式の違いがあり、本年度は1周1kmの松戸南部市場内駐車場及び敷地内を時計回りに走る特設コースで行われるハーフリレーマラソンとなります。エントリーはPA会が2チーム他会派は1チームの計6チームがエントリーをしました。

今回参加させてもらった大会は、前回、前々回と比べると規模的には小さくアットホームな感じの大会ですが、1周1kmの距離は1周交代で走っていくとかなりのペースで走れてしまうこともあり、(全体の)大会上位陣のスピードはかなりハイペースでした。日弁の各チームも一人何周走って交代するか、マイペースで走ってもよしとするか、などチームごとに戦略を練りレースに臨みました。ちなみに、日弁参加者でも一部の先生方は普段の練習の成果か大会上位陣のスピードにも勝るとも劣らないペースで走られていました。

日弁内の順位結果は、1位 稲門弁理士クラブ、2位 春秋会、3位 無名会、4位 南甲弁理士クラブ、5位 PA会チーター、6位 PA会マンチカン、となりました。稲門弁理士クラブは日弁の大会としては無敗の3連覇となります。

大会後は、大会の参加賞である市場内での商品券を片手に空いている卸売のお店でお土産を各自で購入したのち、真田幹事長にもご参加いただき、昼過ぎから居酒屋にて楽しく懇親会を繰り広げさせていただきました。

リレーマラソンは比較的参加をするための敷居が低く、多くの方々が参加可能なイベントだと思います。本年度ご参加いただいた皆様、ご協力いただいたマラソン幹事の皆様に感謝申し上げます。





平成30年度 日弁ボウリング大会

日弁副幹事長 須藤 晃 伸

第41回となる平成30年度日弁ボウリング大会は、平成30年12月4日に高田馬場グランドボウルにて開催されました。

日弁ボウリング大会では、参加者は3ゲームをプレイします。会派別の団体戦と個人戦があり、団体戦では上位6名の合計スコアを競い、個人戦では各自の合計スコアを競います。17のレーンには49名の参加者がランダムに割り振られています。そのため、初対面の人とプレイをすることもあります。ストライクやスペアが出た際には、ハイタッチで喜びを分かち合うことで、直ぐに仲良くなることができます。

ゲームの後は、恒例の懇親会です。平成30年度の会場は「土風炉」でした。懇親会の途中に成績発表が行われます。団体戦では、昨年、一昨年に続いて春秋会が優勝しました。1ゲームの平均スコアは150ピン超のハイスコアでの優勝です。個人戦では、春秋会の中尾俊輔会員がぶっちぎりの565ピンで優勝。昨年の優勝スコアは524であったことから、レベルの高さが分かります。2位は無名会の香坂薫会員、3位は春秋会の樋口和博会員でした。レディース戦は、春秋会の前野房枝会員が優勝されました。喜ぶ人もいれば、悔しがる人もいる、成績発表とは無関係に談笑する人もいる、様々な人間模様が見られる懇親会でした。

日弁ボウリング大会は参加者の年齢層も広く、女性や企業弁理士の参加も多い行事です。そういった意味では、日頃は会派の活動に参加されていない方でも参加しやすい行事といえるでしょう。本年度も多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

■団体戦（上位6名の合計）

優勝	春秋会
2位	無名会
3位	PA会

4位	南甲弁理士クラブ
5位	稲門弁理士クラブ

■個人戦

(1) 順位賞

優勝	中尾俊輔	春秋	565
2位	香坂 薫	無名	510
3位	樋口和博	春秋	470
4位	松田次郎	南甲	468
5位	鈴木利之	PA	449
6位	村上晃一	無名	449
7位	藤本奈月	春秋	445
8位	佐藤辰彦	春秋	445
9位	竹山尚治	無名	445
10位	水本義光	PA	445
15位	大塚啓生	南甲	407
20位	齋藤 康	無名	387
25位	津田 理	南甲	366
30位	三上 結	PA	352
35位	村上綾那	無名	330
40位	浅村 皓	PA	315
41位	菅原峻一	稲門	313
45位	太田昌孝	春秋	306
BB	大西達夫	稲門	271

(2) レディース部門

優勝	前野房枝	春秋	361
2位	村上綾那	無名	330

(3) ハイゲーム賞

1位	中尾俊輔	春秋	205
2位	鈴木利之	PA	198
3位	篠田卓宏	PA	183

(4) 大波小波賞

大波賞	飯島千尋	南甲	83
小波賞	丸山 陽	南甲	6

(敬称略)

以上

